

令和5年度 部(局)方針書・室方針書・課方針書

部署名	所属長
農業委員会事務局	宮永 健一

1. 現状と課題

- ① 農業者数の減少や耕作放棄地の拡大などにより、農地が適切に利用されなくなることが懸念されており、農地の集積・集約化や耕作放棄地の発生防止や再生利用などの取組を加速化させる必要がある。
- ② 担い手の農地の集積や効率的な農業経営を支援するため、農業委員会サポートシステムの適切な管理を行い、農地に関する情報を公開するなど、サポートシステムの有効的な利用を進めていく必要がある。

2. 取組方針

- ① 農地利用状況調査や農地利用意向調査等の取組を強化し、農地に関する情報収集に努め、農業委員及び農地利用最適化推進委員が地域の話し合いの場に積極的に参加し、地域のまとめ役となることで農地の集積・集約化の推進を図る。また、法令業務を確実に遂行するため、研修等による委員のスキルアップに取り組む。
- ② 農業委員会サポートシステムのデータ更新を遅滞なく行い、農地に関する最新の情報を公開するとともに、農地利用状況調査や農地利用意向調査等から得られた情報も併せて公開することで、担い手への農地の集積・集約化を推進する。

3. 中間レビュー

- ① 農地利用最適化推進委員を中心に農地パトロールを実施し、農地の利用状況を確認した。下半期については、農地利用状況調査を実施するほか将来の意向などの情報収集を行い、遊休農地の発生防止や解消、農地の集約に取り組む。
- ② 農業委員会サポートシステムに農地利用状況調査や農地利用意向調査等から得られた情報の更新を随時行うとともに、農地情報を公開し担い手への農地の集積や農地の集約を図った。引き続き、農地情報更新を適切に行う。

4. 最終レビュー

5. 所管する施策及び主要事業

施策名	主要事業